

高山中学校 校内研修だより

No. 7 角田先生
12/16(金) 5校時
1-A 音楽

「自他のよさを認め、自ら判断し、よりよく生きようとする生徒の育成」
～道徳の時間における話し合い活動のさらなる充実を通して～

大変遅くなりましたが、12/16(金)に行った一人一授業の報告です。参観していただいた先生方ありがとうございました。

本時のねらい

アーティキュレーションの違いによる音楽表現の豊かさを感じ取り、工夫してアルトリコーダーを演奏する。

授業の展開

時間	学習活動	教師の支援・留意点	評価項目
10分	○運指練習をする。 ○課題の3曲を演奏する。	・簡単な音型から入り、苦手意識を感じないようにする。 ・4小節をくり返し、覚えて演奏できるようにする。	〈関〉 リコーダー演奏に関心を持ち、正しく演奏しようとしている。
15分	○4つの奏法とその表情の違い、記入方法を確認する。 ○個人でアーティキュレーションを考え、記入して演奏練習する。	・スタッカート、スラーの他は、わかりやすい印を使うようにする。 ・前半4小節にしぼり、奏法を2～3種類使って記入させるようにする。 ・複数考えられるようワークシートを用意する。	
17分	○グループになってお互いの表現方法を聴き合う。 ○グループとしてアーティキュレーションを工夫し、演奏練習する。	・グループでの活動がスムーズに行えるような座席順にしておく。 ・グループで話し合って表現方法を決定できるようにする。	〈技〉 表現方法の違いに気づき、グループで工夫して演奏練習している。
8分	○グループごとに演奏を発表し、聴き合う。	・楽譜を提示して発表できるようにする。	

参観者より

よかったところ（達成できたところなど）

本時のねらいに関して

○グループごとの発表で同じ曲でもアーティキュレーションの違いで、異なる曲のようで楽しく聞くことができた。

話し合い活動に関して

○苦手な生徒も一緒に活動ができてよかった。
○アーティキュレーションの使い方を一生懸命工夫することができていた。

その他

○課題曲を自分で選んで吹くことで、リコーダーが苦手な子も頑張ることができていた。

疑問に思ったこと・改善したい点など

●リコーダーが上手く吹けない生徒の対応をどうしているのか。



お忙しい中、一人一授業大変お世話になりました。